

令和●年●月●日

府中市長 高野 律雄 様

府中市環境審議会
会長 榎本 弘行

第2次府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域
推進計画中間見直し後の進捗状況について（答申）案

令和5年1月27日付、4府生環第691号で諮問のあったことについて、当審議会の意見は、次のとおりです。

1 第2次府中市環境基本計画（環境行動指針）の進捗状況について

平成26年度を初年度とする第2次府中市環境基本計画につきましましては、平成26年度から令和2年度の進捗状況の報告を受けて、本審議会は概ね順調に進捗しているとの判断をしてまいりました。

今般、令和3年度の進捗状況におきましても、審議の結果、概ね順調に進捗していると評価します。

一方で、新型コロナウイルス感染症が引き続き流行している影響もあり、事業の縮小やイベントの中止など、様々な施策に大きな影響を与えています。コロナ禍における新しい生活様式に対応して対策を進めるとともに、イベント等においては徹底した感染防止対策を施して実施する等、可能な限り施策の継続を図られるよう要望いたします。

また、市の施設への再生可能エネルギー、自立分散型エネルギーの導入等については、継続して取組を推進していく必要があると考えます。

加えて、環境に関わる市民活動の促進や環境学習の推進等を担う府中市環境保全活動センターは、当初予定した当該センターの在り方と現状との間に乖離が生じていることから、事業の整理や情報発信の在り方の見直し等を強く要望します。

2 府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について

府中市地球温暖化対策地域推進計画につきましては、平成29年1月に中間見直しを行っております。

中間見直しにおいては、6つの重点プロジェクトに基づき、その各プロジェクトの中から「モニタリングメニュー」として指標を選定し、毎年の市民アンケートなどで進行管理を行うこととしております。

令和3年度におきましては、項目の大部分は目標に向けて上昇しているものの、目標設定が高く、達成率が依然として低調な項目も見られます。

脱炭素型社会の実現に向けて、太陽光発電システムのさらなる普及や、気候変動への対応として、田んぼや畑などの農的空間を多様な視点で評価した、レジリエントなまちづくりに取り組んでいくことが必要だと考えます。

さらに、市の業務や公共施設などにおいては、省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入を進め、率先して温室効果ガス排出削減を図っていくことを要望します。

また、環境基本計画と同様に、**府中市環境保全活動センター**の役割である市・市民・事業者の協働による取組をさらに進めていく必要があると考えます。